



# 「第三の居場所」の開設運営支援

## 2019年度 事業報告書

2021年 1月  
B&G財団 企画課

## ○目的・実施背景

我が国では7人に1人の子供が相対的貧困の状態にある中、日本財団では、子供の貧困は教育・福祉・経済などの社会的な損失につながるとの問題意識のもと、行政内の連携に加え地域との連携により、貧困状態にある子供の学習習慣・基本的生活習慣等の確立を図る「第三の居場所」の設置を推進している。

このような中、B&G 海洋センター所在自治体において、日本財団が推進する「第三の居場所」をモデルに、子供が安心・安全に過ごすことができる居場所を設置し、学習支援・生活支援ほか、海洋センターのノウハウを活かした多様な体験を提供することにより、子供の将来の自立に必要な力を育み、貧困の連鎖を断つことを目的とする。

## ○事業内容

### 1. 「第三の居場所」開設支援

2020年度開設の4自治体4か所を対象に、施設改修に係る工事費等の支援および、運営体制の構築、支援対象者へのアウトリーチなど、開設に係る支援を行った。

対象：新潟県燕市、岡山県美作市、岡山県奈義町、京都府南丹市

### 2. 「第三の居場所」運営支援

上記4か所および第1期拠点の10自治体11か所（下記11か所）を対象に、「第三の居場所」での学習・生活支援プログラムや体験活動の実施など、運営に係る支援を行った。

対象：北海道積丹町、北海道東神楽町（2か所）、茨城県笠間市、埼玉県嵐山町、新潟県胎内市、石川県穴水町、長野県大町市、島根県雲南市、岡山県備前市、大分県杵築市

## ○事業内容詳細

### 1. 「第三の居場所」開設支援

2020年度開設の4自治体4か所を対象に、施設改修に係る工事費等を支援するため、下記のとおり開設助成金の決定および交付を行った。（1か所あたり上限30,000千円）

No	拠点名	開設助成金決定額	支払い済み額
1	新潟県燕市	30,000,000円	30,000,000円
2	岡山県美作市	30,000,000円	30,000,000円
3	岡山県奈義町	30,000,000円	30,000,000円
4	京都府南丹市	30,000,000円	30,000,000円
合計		120,000,000円	120,000,000円

## 2. 「第三の居場所」運営支援

### (1) 各研修会の開催

#### ①第2期キックオフ研修会

2020年度に開設する拠点を対象に、開設後の円滑な運営に繋げることを目的とした研修会を開催。各拠点の進捗報告や先行拠点の視察、事例発表等を行った。

- ・時期：2019年6月11日（火）～12日（水）
- ・場所：埼玉県嵐山町国立女性教育会館および嵐山拠点
- ・参加者：11名（5自治体5拠点の自治体担当者・拠点マネージャー等）
- ・内容：嵐山拠点の視察・事例紹介、尾道拠点山田氏の事例発表、拠点設計や開設に必要な業務説明、ワークショップ等

#### 《研修会の様子》



事業概要説明



各拠点の進捗報告



拠点施設見学・事例紹介



ワークショップ

#### 《参加者の声（一部抜粋）》

- ・事業全体の流れを把握することができ、勉強になった。
- ・実際に運営する上での課題等について知ることができ、大変参考になった。
- ・他の自治体の状況や様々な考え方を知ることができ、新たな気づきをいただくことができた。今後の運営計画の参考としたい。

#### ②マネージャー現場研修

開設を控える拠点マネージャーを対象に先行拠点にて現場研修を行い、スタッフビルディングや日々のプログラムの計画の立て方など、指導現場の実際を学んだ。

#### 北海道東神楽町（中央拠点）

- ・時期：2019年5月20日（月）～22日（水）
- ・場所：兵庫県尼崎市（b&g立花）
- ・対象：東神楽町中央拠点のマネージャー 1名
- ・内容：拠点運営の実務、子どもとの接し方に関する指導実習 等

#### 北海道東神楽町（東聖・ひじり野拠点）

- ・時期：2019年7月10日（水）～12日（金）
- ・場所：沖縄県うるま市（b&gからふる田場）
- ・対象：東神楽町東聖・ひじり野のマネージャー 1名
- ・内容：東神楽町中央拠点と同じ

#### ③第1期フォローアップ研修会

2019年度より運営を開始している拠点を対象に、各拠点の取組み等に関する情報共有や外部講師による講演などを行い、拠点運営の向上に繋げた。

- ・時期：2019年12月19日（木）～20日（金）
- ・場所：日本財団ビル
- ・参加者：20名（8自治体9拠点の自治体担当者・拠点マネージャー等）
- ・内容：各拠点進捗報告、拠点事例発表、外部講師による講演 等

## 《研修会の様子》



開会の様子



拠点担当者による発表



講師による講習①



講師による講習②

## 《参加者の声（一部抜粋）》

- ・日々、運営していく中で、他拠点はどのように取り組んでいるのか気になっていた  
ので、今回の研修会を通じて状況を知ることができて良かった。
- ・各拠点同じような課題に直面していることを知れたとともに、全国の皆さんが同じ  
方向へ向かって取り組んでいることを強く感じる事ができた。
- ・講師の方から専門的な知識を学ぶことができ、大変参考になった。拠点に持ち帰っ  
て生かしていきたい。

#### ④オープン前研修会

2020年10月開設の2自治体2か所を対象にオンライン形式での研修会を開催。先行拠点による事例発表や運営に関するディスカッション等を実施し、拠点開設後の円滑な運営に繋げた。

- ・ 時期：2020年9月23日（月）
- ・ 場所：オンライン開催
- ・ 参加者：8名（奈義町、南丹市の自治体担当者および拠点マネージャー等）  
※2020年10月開設の奈義町、南丹市を対象に開催
- ・ 内容：拠点進捗報告、先行拠点による事例発表、運営に関するディスカッション等

#### 《研修会の様子》



コロナ対策のため、リモートで開催



リモートの様子

#### 《参加者の声（一部抜粋）》

- ・ 拠点を運営している担当者から、実体験に基づくお話を聞くことができ、大変参考になった。
- ・ 支援プログラムを実施するにあたり、各拠点様々な工夫を凝らしていることがわかり、とても勉強になった。

#### （2）各式典の開催

##### ①助成決定書授与式

- ・ 対象：北海道積丹町、岡山県備前市、新潟県燕市、岡山県美作市、京都府南丹市
- ・ 内容：「第三の居場所」の施設整備等に係る開設費および3年間の運営費総額9,000万の支援の決定

《決定書授与式の様子》



決定書授与式（北海道積丹町）



決定書授与式（京都府南丹市）

②協定書調印式・施設内覧会

2019年度開設の7自治体8ヵ所にて、助成が終了する4年目以降も、自治体はじめ関係団体等の連携のもと、継続して運営することを確認するため、協定書を締結した。また、第三の居場所に対する理解や協力を深めるための場として、関係者やメディア等を対象に拠点内覧会を実施した。

- ・対象：北海道東神楽町（2か所）、茨城県笠間市、埼玉県嵐山町、新潟県胎内市、石川県穴水町、長野県大町市、島根県雲南市

《協定書調印式・施設内覧会の様子》



協定書調印式（新潟県胎内市）



協定書調印式（茨城県笠間市）



施設内覧会（長野県大町市）



施設内覧会（北海道東神楽町）

### (3) オンラインスタジオの開設

新型コロナウイルス感染予防および遠隔地でも効果的に「第三の居場所」の運営支援等を行うことを目的に、オンライン上での会議やプログラム紹介等の実施が可能なオンライン会議室を設置した。

- ・ 設置場所：B&G財団事務所内会議室
- ・ 設置時期：2020年12月
- ・ 設備内容：会議室側面の吸音パネル、放送機材

#### 《オンラインスタジオ活用事例》

「第三の居場所」拠点合同クリスマスイベントの開催

- ・ 日時：2020年12月22日（火）17：00～18：00

- ・ 参加拠点：9か所

※笠間市、嵐山町、穴水町、大町市、杵築市、燕市、備前市、奈義町、南丹市



拠点对抗オンラインクイズ大会



各拠点オンラインで参加



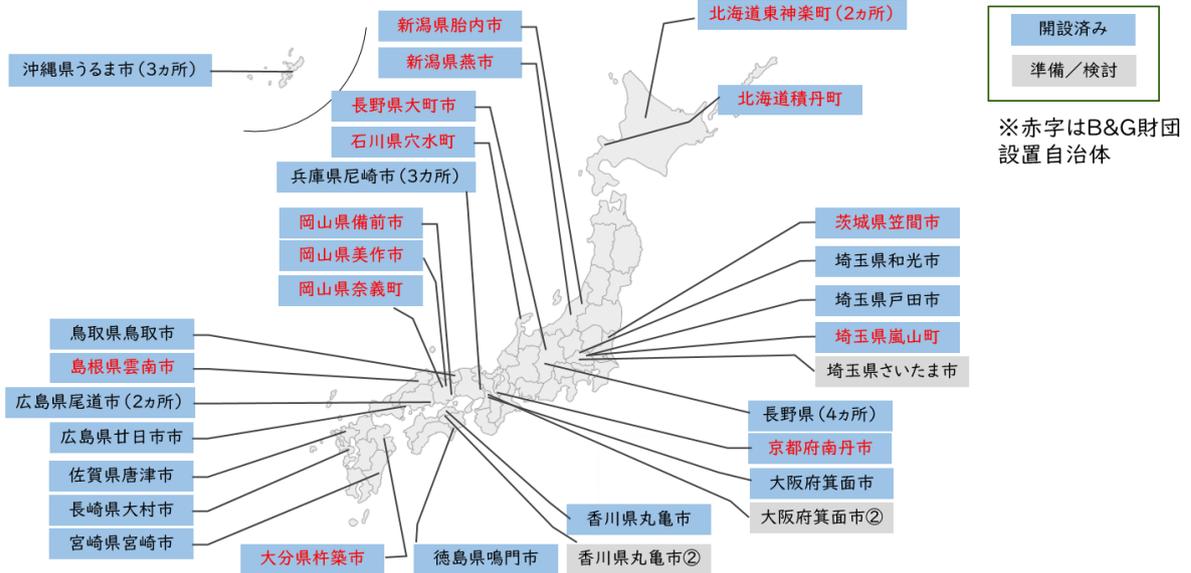
ものしりとりゲーム



施設内にある物でしりとりを行った

○「第三の居場所」開設状況（2020年12月現在）

「第三の居場所」全国への展開状況（現在37カ所開設 日本財団：22カ所 B&G財団：15カ所）



以上